

おおもとウィメンズクリニックレター Vol.16 16周年記念版



16周年に際して

院長 大本裕之

新型コロナウイルス感染症は未だ終焉は見え、第8波、更にインフルエンザ流行の注意喚起がなされている。中国のゼロコロナ政策と抗議行動、そして政策変更、カタルではW杯、全く違った世界を同時に目にしながら、日本も感染症法の見直しが決まり、大きな政策転換が始まります。しかし、ウィズコロナ下で世の対応に変化が見られても、医療現場は逼迫のおそれは続きます。昨年のコロナ感染では皆様に大変なご迷惑、ご心配をおかけいたしましたが、それを教訓にクリニックスタッフの健康を守り、患者様に不安のない診療ができるように医療体制・対策を引き続きとっていきます。

遅れていた子宮頸癌予防ワクチンの積極的勧奨の再開、キャッチアップ制度、不妊治療の一部保険適応など新たな国の施策が始まり、診療内容も変わってきています。さらにマイナンバーカードによるオンライン資格確認、電子処方箋などがクリニックに求められてきています。開院当初からの「すべての女性のための婦人科クリニック」の理念を心新たに、さらに新たな診療にも十分答えられるように引き続き医療体制を整え、良質な医療とサービスを提供いたします。

Because of the coronavirus pandemic…「コロナ禍のせいで…」

副院長 大本佳恵

昨年もコロナ禍から始まり、クリニックはあえなく2回休診せざるを得ない状況になってしまいました。スタッフを始め、患者さまや関係者の方々には大変ご迷惑をおかけしました。私も実際感染者となり、知識としては症状や後遺症など知ってはいたものの、こんなにしんどく辛いものとは思わずもう2回目はこりごりです。患者さまも「やっとコロナの症状が（後遺症）落ち着きました」と検診に来て下さる方も多く、本当に大変な一年でした。

でも第7～8波の感染状況でも徐々に飲食店などでは隔離を緩和したり、密な会合も増えてきました。仕事以外でマスクを外せる時も近いのかもしれませんが。

ただコロナ感染はやはり人の心も変えてしまう厄介なものに変わりはありません。5月連休明けから感染症法で5類に変更されるとのことですが、実際今後の「With Corona」はどうなっていくのでしょうか…

私は早く小中高校への出前性教育をやっていききたい、体調と相談しながらですがそれが開院17年目を迎える強い希望です。

2022年福山市明るいまちづくり協議会主催第54回ばら花壇コンクール（応募85花壇）が行われ**バラの花部門 ばら花壇大賞**を受賞いたしました。ますます、ばら育成に励みます。



ばら花壇審査日=2022年5月6日～9日
6花壇が『ばら花壇大賞』を受賞し、2022年度のモデルばら花壇に認定されました。

明るいまちづくりニュース 第35号より転載



〒720-0830 福山市水呑町三新田2丁目27



TEL: 084-920-5155

http://ohwc.jp

2022年度 クリニックのデータ

2022年は新規登録患者様 664人、のべ 10065人の患者様に来院いただきました。引き続き感染予防対策を図ったコロナ禍での診療でしたが、当院も休診の事態に追い込まれ、大変なご迷惑を皆様にはおかけしました。その中でも昨年同様に患者様に来院頂き、改めて地域医療における当院の責任を痛感いたしました。

子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣腫瘍など良性疾患の多くは倉敷成人病センター様の腹腔鏡下手術により患者様の QOL を保ちながら治療がなされました。悪性疾患は福山医療センター、福山市民病院、中国中央病院、倉敷成人病センター様などと病診連携をはかり子宮頸部上皮内腫瘍；高度異形成 13名、子宮頸癌 1名、子宮体癌 4名、卵巣癌 1名の患者さまが適切な医療を受けることが出来ました。子宮頸癌は一次予防として、子宮頸癌予防ワクチン（HPV ワクチン）の国の積極的勧奨の再開、キャッチアップ制度により接種者は急増しましたが、これからの接種率の上昇が大切です。

不妊症に対しては子宮卵管造影検査を 46名に行い、排卵誘発、タイミング法、人工授精までしか扱っていませんが、ストレスが大きくなるような診療に配慮しています。高度生殖補助医療は指定医療機関様と連携を図り、よい成績を収めています。

LEP製剤（低用量エストロゲン・プロゲステロン配合薬：月経困難症治療薬およびピル）は月平均 357シート処方です。昨年と同程度でした。他の選択肢としてジェノゲスト処方、子宮内黄体ホルモン放出システムも増加し、女性の生活改善に役立っています。

スタッフより

（看護師）今年の目標は卯年にちなんで「鳶目兔耳」トビの目はよく見え、兔の耳はよく聞こえるの意。そのような目と耳を持ち、情報収集能力を高め、患者様のどんな些細なことにも気づき、患者様の心の声を聴くことができる看護師になれるよう努めてまいります。

（看護師）新しい年が始まりました。㊦うらかな気持ちで ㊧さわやかな環境づくりと心配り ㊨技術向上に努め 皆様の来院を心よりお待ちしております。今年もよろしくお願いいたします。

（看護師）今年も新しい年が始まりました。入職して1年たちましたが、昨年は不慣れなことも多くなか、温かく見守ってくださりありがとうございました。今年ワークライフバランスを大切に仕事も家庭も趣味も楽しめる1年にしたいと思います。今年も宜しくお願い致します。

（医療事務）昨年は依然収まらない感染状況の中、患者様には診療体制変更などご迷惑をおかけし申し訳ございませんでした。同時に、当院の感染対策にご協力いただきありがとうございます。今年も体に気を付けて時に息抜きしながら頑張っていきたいと思っております。宜しくお願い致します。

（医療事務）入職して1年が経ちました。少しずつ患者様に顔を覚えていただき、気軽にお声をかけていただけるようになりました。本当にありがとうございます。まだまだ続くコロナ禍で、昨年は皆様にはご迷惑をおかけしましたが、今年も健康に気を付けながら、業務に精進していきますので、よろしくお願い致します。